

SEMBA CLUB

Annual Report 2019

「船場倶楽部」では、船場の歴史・文化・暮らしを育みながら、良好な景観・美観を創出し、まちの魅力向上と賑わいづくりに貢献するため、船場地区内の地域連合振興町会、商業団体、社寺、法人企業、そして地域まちづくり団体などが連携協力し、船場地区全体に亘る課題について、検討し解決に努めることを目的として活動しています。

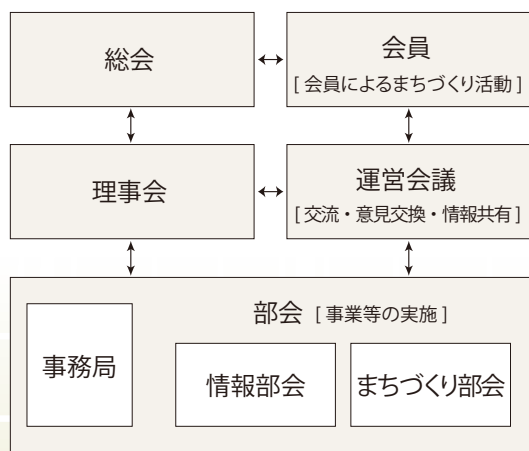
今年度は、以下の3つの重点事業を中心に、活動成果を収めることができましたのでご報告します。

- ①提案コンペ「船場 2030 ～ワクワクする船場のこれから～」
- ②ゲートタイプ案内板の設置
- ③「伏見ビル」における新事務所開設

活動内容

- 1 まちの課題を解決し、新しい都心像に挑戦
- 2 柔らかな連携と交流を育くむまちづくりを発展
- 3 開かれた船場の窓口
- 4 船場の情報発信

組織体制



役員等 (2019 年度)

- 特別顧問 橋爪 紳也 (大阪市特別顧問 | 大阪府立大学研究推進機構教授 | 大阪府立大学観光産業戦略研究所 所長)
- 理事長 大橋 達夫 (集英連合振興町会)
- 副理事長 田中 雅人 (大阪ガス (株))
- 理事 青木 教至 (道修町まちづくり協議会)
- 理事 池田 吉孝 (船場博覧会実行委員会)
- 理事 池永 純造 (船場センタービル連盟)
- 理事 川上 潤 (愛日連合振興町会)
- 理事 千葉 桂司 (船場クリエイティブポート推進協議会)
- 理事 中塚 一 ((株) 地域計画建築研究所)
- 理事 日比 哲夫 (船場げんきの会 (移行チーム))
- 理事 渡邊 紘一 (坐摩神社)
- 会計監事 小川 優一 (せんぼ心齋橋筋協同組合)
- 事務局長 谷口 康彦 (船場げんきの会 (移行チーム))

会員 (2020 年 3 月末時点)

- 正会員 72 名
- 賛助会員 55 名
(連合振興町会、商店街、まちづくり活動団体、寺社、法人、個人)

1. 活動報告

「船場 2030 ～ワクワクする船場のこれから～」提案コンペの実施

「新しい時代の船場都心像」を求めるコンペを実施しました。

結果アイデア提案 55 件、まちづくり提案 32 件の応募があり、一次審査及び、「船場フォーラム」(9 月 28 日実施)における最終審査を実施し、まちづくり部門から最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品、審査委員特別奨励賞 1 作品、入賞 3 作品が選ばれ、アイデア部門から入賞 5 作品が選ばれました。また、企業賞として、まちづくり部門全作品の中から 3 作品が選ばれました。

入賞作品については、「船場博覧会」及び「船場まつり」において展示を行いました。なお、このコンペの実施にあたり、会員 25 団体から 80 万円の協賛金のご協力をいただいております。



広報用リーフレット



最終審査（会場展示）の様子



最終審査（アイデア提案入賞者表彰）の様子



最優秀賞受賞作品 『Food Salvation City ～SEMBA～』



最終審査（座談会）の様子

会員間の懇親・情報交換（運営会議・交流会・互礼会の開催）

会員間で情報交換を行う場である運営会議（4/26, 8/23, 11/1）を開催しました。また、会員間の懇親の場である交流会（6/7, 9/28）・互礼会（1/21）を開催しました。（2019 年度：計 6 回開催）

まちづくり部会

本年度は、ホテル、マンションの建設が進み、まちの暮らしに大きな変化が見られる高麗橋 2～3 丁目をケーススタディに、大阪市とかんまち事業に関する意見交換及びホテル協議会やフリーペーパーの検討を行いました。

そのほかに、淀屋橋駅前地区の開発計画について開発者協議を町会に協力して対応を行い、また、コンペで提案された作品の分析などの検討を行ってきました。

「御堂筋協議会」への参画

大阪市が 2019 年 3 月作成した「御堂筋将来ビジョン」の推進にむけて設置された「御堂筋協議会」（御堂筋協議会（2 回）同作業部会（2 回））に参加し、今後の船場の歩行者空間の整備に向けた知見を共有してきました。

情報部会

船場「まちの案内板」の設置

船場の魅力を伝えていくための案内板の設置をすすめています。船場独特の落ち着いた街並みとの調和を考え、内容やデザイン、しくみなどある程度統一しながら、訪れた人たちにわかりやすく情報を発信しています。

2019年度には、北浜2丁目においてゲートタイプ1基と地権者案内板2基を設置し、累計16基の案内板を完成させることができました。



ゲートタイプ案内板

船場ナビ

船場のみどころやイベント情報を紹介するウェブサイトを運営しています。

2019年度は、HPでの発信に加え、SNS (Facebook, Instagram) との連動により、よりタイムリーな情報や地域の魅力の発信に努めてきました。



SNSによる情報発信

船場ガイドブック 2019の発行

船場の魅力をお伝えする「今日からあなたも船場人 | 船場ガイドブック」を発行しています。

第8号にあたる2019年度版では、各連合振興町会の協力により「船場八区」について特集しました。



船場倶楽部の新事務所の開設

地域窓口の拠点であるとともに、会員の交流拠点となる新事務所を伏見町2丁目の伏見ビルに開設、2019年11月8日に移転・開所式を行い、同11日から業務開始しました。今後、会員のみなさまの活動の場としての交流機能や、情報発信拠点として機能の拡充を検討していきます。



事務所（伏見ビル）外観



事務所（伏見ビル）会議スペース

活動助成制度

船場倶楽部では、会員による新たな魅力創出事業の立ち上げなど創意ある活動や、会員団体の相互協力による連携イベントの実施に対して、金銭的な支援を行う「活動助成制度」を創設しています。

※2019年度においては、公募により「船場博覧会実行委員会」「バルセロナ7」に助成を行いました。

2. 会員活動紹介

会員による特徴的な活動を紹介します。

船場博覧会、船場のおひなまつり

by 船場博覧会実行委員会

セミナーや、まち歩き、コンサートを通じ、船場の魅力を伝えるイベントを実施。(11/17~11/23) 春には、旧家に伝わる雛飾りを公開する「船場のおひなまつり」を開催(2/27~3/3)。



船場のおひなまつり



船場博覧会

船場まつり

by 船場まつり推進協議会

合言葉は“せんばに親しむ3日間”。商店街や神社・寺院など船場地区一帯を会場に、神輿巡行をはじめ約40のイベントを実施。恒例の大売出し”誓文払い船場大感謝市”や大船渡サンマまつりは大盛況。



誓文払い船場大感謝市



大船渡サンマまつり

船場センタービル 50周年記念事業

by 船場センタービル連盟

2020年3月に50周年を迎えた船場センタービル。ビルの愛称募集(「せんびる」に決定)や、3号館と4号館を結ぶ地下連絡通路に新名所・船場ミューラルパーク完成など、50周年記念プロジェクトを実施した。



船場ミューラルパーク

御堂筋パークレット社会実験を半年間実施

by (一社) 御堂筋まちづくりネットワーク

人中心の空間への再編をめざす御堂筋の将来の姿を可視化。安全性や、広場空間・施設マネジメントのあり方、維持管理費用を捻出するために必要な広告掲出に対するニーズの検証を行った。



御堂筋パークレット
(愛称:いちょうテラス本町)



豪商“淀屋”の研究・顕彰活動

by 淀屋研究会

江戸時代中期、淀屋米市を基に大坂は日本一の商業都市に発展した。淀屋研究会はこの豪商“淀屋”を研究・顕彰しており、毎年「綿業会館」で講演会を開催(10/5)。盛況・好評を得ている。



綿業会館での講演会



淀屋の碑

船場バロックコンサート

by (一社) 日本テレマン協会

船場を音楽「潤い・賑わう街」をモットーにコンサート活動。船場賑わいの会とともに御霊神社第4回コンサート開催(10/25)。大阪倶楽部マンスリーコンサートは、1968年以来500回を超える開催。



御霊神社コンサート



大阪倶楽部マンスリーコンサート

お問い合わせ



船場倶楽部
SEMBA CLUB

■ 船場倶楽部に関するお問い合わせ

Mail / info@sembaclub.com

■ 船場倶楽部ホームページ

www.sembaclub.com

イベントやエリア情報などを集約した
ポータルサイト



船場ナビ

<https://semba-navi.com>

船場ナビ

検索